

## 愛顔でつなぐ“学校・家庭・地域”の集い 教育長あいさつ

令和5年8月29日（火）  
愛媛県生涯学習センター

本日、県内各地から多くの皆様をお迎えして、令和5年度「愛顔でつなぐ“学校・家庭・地域”の集い」を開催できますことを心から感謝申し上げます。

また、御参会の皆様方には、平素より、それぞれのお立場から子どもたちの健やかな成長のために御尽力いただくとともに、子どもたちが安心して充実した毎日を送れるよう、子どもたちに寄り添い、温かく見守っていただいておりますことに厚くお礼申し上げます。

さて、3年以上にわたるコロナ禍はもとより、想定以上のスピードで進む人口減少やデジタル技術の飛躍的な発展、グローバル化の進展などにより、私たちを取り巻く環境やライフスタイルは、急速かつ大きく変化しており、こうした将来を予測することが難しい時代においては、不測の事態に動じることなく、自らの発想と力で困難を乗り越え、社会の良き創り手として地域に貢献できるたくましい人材を育成することが重要であり、教育の果たす役割は、今後更に重要性を増すものと考えています。

このため、県では、教育の振興を通じ、優れた人格と能力を兼ね備え、より良い社会づくりに貢献できる若者を輩出することはもとより、その教育力の高さをもって、全国から評価され選ばれるような「愛顔あふれる『教育立県えひめ』」の実現を目指して、本年3月に「第3期愛媛県教育振興に関する大綱」を策定しました。その中で、「社会総がかりで取り組む教育の推進」を振興方針の一つに掲げ、学校、家庭、地域住民、企業等の多様な主体が連携・協働して、子どもの学びの場の確保や家庭教育支援の充実に努めるとともに、学校と地域を橋渡しする人材の育成支援などを通じて、子どもたちが健やかに育ち、地域に愛着を持って地域社会で活躍できるたくましい若者に成長できるよう、地域の教育力のより一層の向上に取り組んでいるところであります。

この「集い」は、教育という枠組みを越えて、子どもたちの成長に携わる様々な方々に御参加いただき、子どもを取り巻く多様な問題を共通課題として捉え、学校・家庭・地域が連携・協働した取組みの一層の推進を図るとともに、地域の大人一人一人の力を、全ての子どもたちの愛顔のために幅広く生かしていただく契機となることを願って開催するものであります。

本日は、特定非営利活動法人まちと学校のみらい代表理事の竹原 和泉（たけはらいずみ）先生に御講演をいただくとともに、5つの個別テーマによる分科会での事例研究を通して、研修や情報交換を行うこととしておりますので、それぞれのお立場や経験に基づき、様々な視点から活発な御協議をいただき、実りの多い「集い」となることを期待いたしております。

結びに、本日御参会の皆様のご健勝、御活躍を心からお祈り申し上げまして、挨拶とさせていただきます。